

平成 27 年 1 月 13 日

研修・意見交換会のお知らせ

## リハビリテーション災害支援 研修・意見交換会

「リハビリテーション災害支援システムの構築」研究会

テーマ：～災害におけるリハビリテーション職種の役割を検討し、明確にする～

「リハビリテーション災害支援システムの構築を考える会」代表を務めます三浦 和（国際医療福祉大学）と申します。ここにご案内致します研修・意見交換会は、平成 24 年度文部科学省科学研究助成事業 研究課題「リハビリテーション災害支援システムの構築」の集大成として開催するものです。

本研究は、災害時のリハビリテーション職の活動を調査し、調査結果をもとに啓発活動や災害に備えた地域づくり、減災・防災に関わる活動と災害後の活動に備えたシステム整備への提案を行うことを目的に進めて参りました。

幸いにその間、研究主旨に賛同頂き、多大な協力・支援を頂いた方々と縁あって冒頭紹介致しました「リハビリテーション災害支援システムの構築を考える会」を結成し、国内外の先生がたにご指導、アドバイスを頂戴して参りました。

研修・意見交換会は、次項にご紹介の通り、災害支援に関して見識ある国内外の先生方からの講義を賜り、その上で参加頂いた皆様との意見交換の場を持つことにより、昨年 3 月にまとめた「災害支援ガイドライン」に今現在、加筆すべきことが生じていないか検証し、来期、皆様に公表させて頂く研究成果報告に大きく反映させたいと思っております。

今後のリハビリテーション災害支援構築の為にぜひこの研修会・意見交換会にご参加 いただき、皆様のご意見をいただければと思います。

日時 2015 年 3 月 22 日(日) 9:30～17:00 (開場 9:00～)

会場 日本理学療法士学会 田町カンファレンスルーム (東京都港区)

定員 100 名 (リハビリテーション関連職種) \*他職種は要相談.

参加費 無料 \*講演後、簡単な懇親会を開催する予定です. 懇親会費は別途徴取になります。

参加申込：締切 3 月 13 日 (金)

申込み：下記の URL にてフォームに必要事項をご記入ください。

<http://ws.formzu.net/dist/S52685748/>

後援 JOCV リハビリテーションネットワーク, 日本作業療法士協会

リハビリテーション関連団体協議会 (JRAT) 申請中

※日本理学療法士協会 生涯習 15 ポイント付与申請中

お問い合わせ：三浦 和 (国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 講師)

電話：0465-21-6705 (直通) メール：nodoka.miura@iuhw.ac.jp



## プログラム

9 : 30～9 : 45

ご挨拶 及び 本研究・ガイドラインのご紹介

(リハビリテーション災害支援システムの構築を考える会 代表 三浦 和)

9 : 50～11 : 00

基調講演 I. 災害とは？

講義内容：災害の基礎を学ぶ

講師：名古屋大学 減災連携研究センター 阪本真由美先生

11 : 00～11 : 10 質疑応答 (座長：木原由里子)

11 : 10～11 : 20 休 憩

11 : 20～12 : 20

基調講演 II. 災害に関するリハビリテーションとはどのようなことをするのか？

講義内容：災害時にはなにが必要か？

講師：国立病院機構災害医療センター 小早川義貴先生 (Dr)

12 : 20～12 : 30 質疑応答 (座長：林寿恵)

12 : 30～13 : 30 休 憩

13 : 30～15:00

基調講演Ⅲ. 今できること、準備 (危機管理) は何ができる？

講義内容：災害国際基準：平時の防災への具体的活動内容

講師：Handicap International Mr.エリック (PT)：同時通訳

15 : 00～15 : 15 質疑応答 (座長：磯部由美)

15 : 15～15 : 30 休 憩・質問用紙回収・集計 (古郡恵)

15 : 30～16 : 30

対談・質疑応答 司会者 日本理学療法士協会 伊藤智典

16 : 30～17 : 00

総括

リハビリテーション災害支援システムの構築を考える会 アドバイザー河野 眞  
代表 三浦 和